

## つき BON の「誤解をおそれず言わせてもらえば」

めざす会幹事 大津寄章三

### 春のお彼岸

彼岸過ぎたら僕の部屋も あたたかくなる♪  
(さだまさし「僕にまかせて下さい」)

もうすぐ春分の日（彼岸の中日）である。彼岸、というのは「川の向こう岸」という意味らしい。対してこちら側を「此岸（しがん）」という。生粋の江戸っ子には区別して発音できまい。調べてみるとこうある。

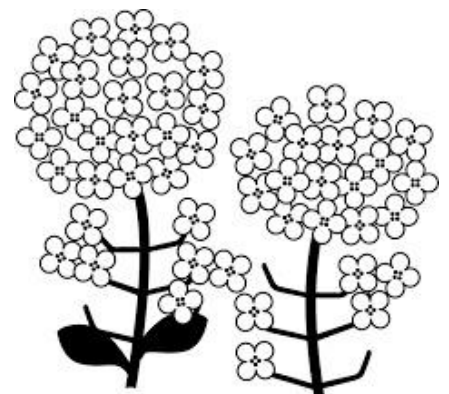
七日間あり、中日に先祖に感謝し、残る六日は、悟りの境地に達するのに必要な六つの徳目「六波羅蜜」を一日にひとつずつ修める日とされている。

彼岸の行事は日本独自のものでインドや中国の仏教にはないことから、民俗学では、元は日本古来の土俗的な祖霊信仰が起源だろうと推定されている。彼岸という言葉は「日願（ひがん）」から来ており、仏教語の「彼岸」は後から結びついたものであるという。

身内が亡くなると川の向こうに行ってしまう、という発想はいかにも日本人的ではないか。大海の果てでもなく、山岳の彼方でもない。日本に長江やガンジスのような大河はないから、向こう岸とは祖先が見える場所なのである。それが彼岸になると姿を見せ、こっちの岸にいるわれわれに手を振ってくれている、というイメージであろうか。

各家庭では仏壇や墓の前で手を合わせ、まるで生きている人に語りかけるように近況を故人に報告する。今年こそ宝くじに当選しますようになどと祈る人はまずいまい。報恩と感謝の機会なのである。しかしお願いをすることもないではない。私なら「あと十日ほどで娘に女の子が産まれます。どうか母子とも元気でありますようお守り下さい」と願うだろう。

最近では家に仏壇も神棚もなく、墓参りも諸事情で行かないという家庭が多い。祖先や神仏という人に命と運命を与え、そして司る存在を軽視してどうして子供の教育ができるというのだろうか。自分のため（塾の費用を払うゆとりがあるなら）そして家族のために安くともよいから親子が互いに同じ方向を向いて祈る場を、ぜひ家庭内に備えるべきである。



また、墓参にも子供を連れて行き、ともに墓掃除をさせ線香を手向けさせたい。お父さんもお母さんもいつかはこの中に入るんだよ、そうしたら時々お父さんの好きな缶ビールをお供えに来てくれよ、などというその時の会話がどれほど「心の滋養」になるかを戦後教育は無視し続けてきた。「根」を大切にしない樹木にはきれいな花も咲かなければたわわな実もなるまいに。

死をケガレと感じる感覚は日本文化の中核をなす感性であり、また生命尊重は戦後ことさらにクローズアップされてきた。しかし、それが万物に等しく訪れる死から目をそらすものであってはならない。さて、私も今週中には行っておかねば。

♪両手をあわせた かたわらで 揺れてるれんげ草  
あなたの大事な人を 僕にまかせて下さい (同上)

## 親学～主体変容の教育改革

2018/03/19(月)

親が変われば子供も変わる

長い歴史の中で、子供を生み育てることは、家族や社会にとつてごく自然な営みであり、あえて学ぶものではありませんでした。しかし、急激にすすむ核家族化や、地域のつながりの希薄化に伴い、子育てに必要な情報を得るのが難しくなっています。

そこで、親学は、親御さんのため、ご家族のため、教育に携わる方々のための学びの場を提供します。引きこもり、不登校、発達障害はじめ、子育て、児童生徒指導に関するご相談もお受けいたします。

## 親学公開講座開催要領

日時：平成30年4月8日(日) 13:30～16:40

会場：東温市 川内公民館 3階 第3学習室

講師：杉本哲也・(一財)親学推進協会講師

第1コマ 13:30～15:00 「親学と道德教育」

第2コマ 15:10～16:40「一人前の大人に育てるための条件」

受講料：1コマ 1200円 2コマ 2000円



### 杉本哲也先生のご紹介

昭和54年、大阪生まれの38歳。奥様との間に3人のお子様がいらっしゃいます。京都大学大学院工学研究科化学工学修了後、味の素株式会社のライフサイエンス研究所で勤務されました。京都大学アメリカンフットボール部のOBでいらっしゃいます。平成21年に松下政経塾に入られ、第27期生として卒業されています。

現在、一般財団法人親学推進協会講師・社団法人実践の人の家理事・幼年国語教育会理事・大阪市住吉区子ども教育専門会議委員を務めておられます。国内のみだけでなくシンガポール・フィリピン・フィンランドなどの教育機関でも講演されています。

ご著書に「誇りをもたすリーダーの命」「保育の質を高める鍵」など。

落語家も真っ青！杉本先生の語り口を是非お聞き下さい。

2月25日（日）の親学研修会は、親学アドバイザー4名を含む10名のご参加がございました（第1コマ「親子の自己肯定感を高めるには」8名、第2コマ「親学の理念をアドバイスに活かす方法」5名）。

今回、「公開」としておりますのは、親学アドバイザーの方々のご厚意により、破格の受講料で一般の方にお受けいただくシステムです。次回は6月の第2週の予定でございます。

## 拉致問題

平成14年小泉首相の訪朝時、北朝鮮は拉致を正式に認め、拉致被害者5人が帰国されました。今回は美智子皇后陛下がその年のお誕生日にお述べになったおことばを再掲させていただきます。



小泉総理の北朝鮮訪問により、一連の拉致事件に関し、初めて真相の一部が報道され、驚きと悲しみと共に、無念さを覚えます。何故私たち皆が、自分たち共同社会の出来事として、この人々の不在をもっと強く意識し続けることが出来なかったかとの思いを消すことができません。今回の帰国者と家族との再会の喜びを思うにつけ、今回帰ることのできなかつた人々の家族の気持ちは察するにあまりあり、その一入ひとしおの淋しさを思います。

## 映画「南京の真実」上映会

2月24日（土）東温市上映会には24名、3月4日（日）の西条上映会には23名、3月21日（水・祝）の伊予市は30名のご参加がございました。また西条会場でご覧になった方の中で、四国中央市の方がご自分のご関係の団体で、また旧東予市の方が自衛隊家族会の総会で上映して下さることになりました。



以下の感想は西条会場の方々のものでございます。

●中韓にこれほど叩かれながら、何故マスコミも政府も反発しないのか不思議でしょうがない。いいかげんに敗戦国・日本から脱却してほしいものである。我々は真実を知り、後生へとつないで行かなければならない。●今まで何も知らない自分が恥ずかしく思います。これから憲法の改正に向け、また、左翼やマスコミの抗議が激しくなります。頑張って日本を守りましょう。ありがとうございました。●若い子達は知らないので民放のテレビで放送してほしい。●世界で上映して下さい。特に中国で！●西条で上映していただきありがとうございます。前回は松山の工業試験所（青井注・10年前、工業団地のようなところで、「日本の歴史に学ぶ会」が上映設備のよいところを選んで上映した）だったように思います。日中開戦前の政治背景がわかりました。ドイツが第一次世界大戦後アウトバーン建設できる資金がどうやってできたか良くわかりました。●中国軍の非道さがよく判った。日本よ早く憲法改正せよ。早く中国を民主化しよう。●中共の残虐性が改めてわかりました。日本、そして中共に支配されている国々が一日も早く解放される事を思わずにはられませんでした。ろこう橋事件はやはり外国の手先として中共のしわざというのもわかりました。中共とからむとろくな事がないこともよくよくわかりました。世



界の金持ちという者はやはり異常であるという事もしみじみわかりました。これだけの資料を見れてよかったです。●第一部を見ていないのですが、今後、DVD化の計画はありますか。(3000円ほどで販売されている) 上映会を四国中央市で実施する予定はありますか。上映場所として、ユーホール、中之庄公民館、新設の文化ホール等での実施は可能ですか。●中国がチベットや南ウイグル、そして国の中で行なってきた事を、その時、その時で、別々に聞き、恐ろしい事と思ってきたが、本日のようにまとめて次々と、又、現実のありのままを動画として見ると、日本人としては思いも及ばない残虐なことである。今、中国は日本を制圧しようとしている。私たちは、そうなった時、どんな事が起こるのか、全く考えておらず、ぼんやりしている。私も本日の動画を見て、気分が悪くなり、はき気を感じた。正視するに耐えないものであるが、見る必要が有ると思った。日本人とは全く異なる人種が居ることを。●新作の上映会の実現に感謝し、お礼を申し上げます。県内で4カ所で上映されるというのはありがたいことですが、会場の規模があまりに小さいことに驚かされました。運営側だけの事情ではないと思われませんが、前作から10年も経って会の主張が世間に浸透していないようで残念です。今後も会の活動に微力ながらお手伝いさせていただきたいと思えます。●蒋介石とドイツの関係、ナチスドイツを支援した資本家の件など、知らない話が多くあり、一度見ただけでは消化できません。第一部と同様、Sakura so TVにてアップロードしていただければ幸いです。●重い映画でした。今私のこの平和な時代を築いてくれた多くの人々の死と努力に何をして、何をなすべきでしょうか。●初めての映像でした。参考になりました。●この映画を、英語、スペイン語等に翻訳して世界中に知らしめたい。次回の上映にも参加します。今日、参加できなかった知人、友人にも内容を教えときます。

☆☆☆ 事務局から ☆☆☆

☆日本会議伊予支部設立総会が3月31日(土)に開催されます。ご案内を同封させていただきます。伊予地区(伊予市、松前町、砥部町)のみなさま、是非ご参集下さいませ。

☆親学公開講座のちらしを同封致しました。

☆東温市は認知症の家族のための講座を隔月開催しています。近いシタダやし、で私も参加しています。家族(認知症であったり高齢であったり)を変えよう変えようとしているとストレスの詰まった顔になりますが、相手をお世話をしている人の表情や発言は清々しい。自分が変われば世界が変わる!ここにも親学が!ヘルパーステーションを運営している方が、親学公開講座に来てくださることになりました。

★会費の切れる会員の方には払込用紙を同封しております。引き続きご支援下さいますようお願い申し上げます。年会費は2000円でございます。封筒のアドレスシールの住所のあとの数字は今まで会費を納入していただいた〈年と月〉を表しています。長期会員の方は〈年〉のみの期間もでございます。



健全な男女共同参画社会をめざす会

会長 青井美智子 〒791-0221

東温市上村甲218

電話 090-8971-7721 Fax 089-964-3903

<http://www.mezasukai.com/> x-lmichikoaoi25@yahoo.co.jp